

Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

2026年4月

## 「ひかりの森」がオープンします

～「自然保育」の大切さは、将来の可能性を引き出す確かなデータベースを作つてあげること～

IGLグループ理事長 永見憲吾（宇佐川秀輝 文責）



### サムエルの「自然保育」の取組み

サムエルのこども園は子どもが主役です。これまで「社会で生きていくために育てたい力」の一つとして「豊かな感性、五感を育てる」取組みを進めて参りました。

この度、子どもたちの健やかで逞しい成長を、更に後押しするため、「自然保育」の取組みを充実させます。自然保育は各園で進めますが、全体の活動のシンボルとして、安佐北区安佐町後山に約1万6,500平方メートルの森林を確保し、その一部を「ひかりの森」として「遊びの空間」を整備します。2026年4月の本格オープンを目指し準備を進めています。

広島県自然保育推進アドバイザー  
菊間 馨さん



### 「ひかりの森」お披露目会

2025年11月26日(水)、この森において、広島県自然保育推進アドバイザー菊間馨さんをお招きし、園児の保護者を対象に「お披露目会」を企画しました。平日にも拘わらず、50人を超える皆さまが参加してくださいました。前日から心配だった天気も会を始める同時に、森に木漏れ日が差し込みました。菊間さんは常々言われます。

「最近『まっすぐに座れない、平衡感覚がとりにくい、加減がわからないでたたく』のような子どもたちがいる。自然の中で石の上を歩く、でこぼこの坂道で遊び、横たわる枯れた木に登る、昆虫にそっと触ってみる、木に触れ泥だらけで服を汚して遊ぶ…。こうした体験を通して、知らず知らずに、身体感覚、平衡感覚や危険の察知、手加減の具合、触感、好奇心、こうした心身の礎が培われていくもの。小学校に入る前に、いかに多くのこうした自然体験をさせてあげるかだ。小学校までにこうしたデータベース・土台をしっかりと作っておけば、知力、体力、発想力等様々な生きる力が根をはり身につくと考えている。多様性の時代だ。小学校に入るまでの過ごし方も様々。自然保育の大切さは、生きる力の礎であり、将来の可能性を引き出すデータベースを作つてあげることだと思っています。」

森の中は  
遊びが無限大！



### 森は学びの宝庫

「倒れそうな枯れ木、落ちそうな枝、蜂の巣など子どもが自ら対処できない「危険」は取り除く必要がありますが、自然そのものが教材となるのです。森は学びの宝庫。」と、その時、一人のお子さまが、石ころだらけの坂道を「よちよち」と登り始めます。

「皆さんこのお子さんに注目してください!この足場が悪い坂道を登っていきます。転ばないよう、前かがみになり、石ころの感触を確かめながら、ゆっくりと…。」

まさにこうした体験が知らず知らずのうちに身体感覚や平衡感覚、危険を察知する力を培っていくのです。急に座り込み土いじりを始めるお子様の姿が空気を和めます。



### クマ対策について

気がかりなクマ対策について「隣接する動物園の近くでクマの出没情報があります。これは食べ物の『におい』がするからだと思っています。クマは嗅覚が優れ遠くにおいをかぎ分けることができます。この森については食べ物となるものをなくすることです。多くの人間が居ることを知らせれば、フェンスで囲まれたこの森に敢えて近づくことは考えにくくなります。ただし、弁当がらなど食べ物を残せば人間と食べ物が結びつき、クマが近づく要因になります。もしも遭遇した時のために、「クマ対策スプレー」の取り扱いについてもお話をありました。また、「マダニ」対策に関わるお話もいただきました。

初対面でも  
すぐにお友だちになれたね！



4月の本格オープン時は隣接する旧国際交流センターを一部改装し、子どもたちの休憩や作業の場として活用し、危機管理上の避難場所にもなる多目的スペースが完成しています。将来は、地域貢献の一環として、幅広くご協力をいただきながら、開放し、「後山の賑わいづくり」に繋げたいと考えております。

「ひかりの森」は、まさにこれから育てていく「森」です。

子どもたちの健やかで逞しい成長を後押しするため、保護者・こども園の皆さま、その他関係者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

感覚を確かめながら  
ゆっくり、ゆっくり



### さまざまな体験ができる！

『警察犬ごっこ』

しきびの葉の香りを確認し「さあこの森で探してみよう」  
※五感の中で難しいとされる「香り」の感覚を培います

『手押しポンプでどろ遊び』

井戸に手押しポンプ、ジャージャー水の使い放題  
自然の「泥遊び場」の完成です



午後は各園の保育士の皆さんを対象に会を進めました。即席で「どんぐりを使ったやじろべえ」、「落ち葉パズル」、「枯れ葉を使ったイマジネーション遊び」など森の教材を使った遊びが次々と紹介されます。「森の中に同じものは一つとしてありません。遊びは無限に広がっています。」菊間さんの言葉に楽しそうにうなずく保育士の皆さんのが印象的でした。

当日は、菊間さんの分かりやすく、歯切れのよいお話を引き込まれ、あっという間に、時間が流れました。改めてお忙しい中、講師をお引き受けいただいた菊間さんにお礼を申し上げます。「ひかりの森」にふさわしく明るく活気のある「お披露目会」となりました。

